

# 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の結果がまとまりました

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」は、同自動車道の他の区間と一体となって但馬地域の活性化を支援する道路として期待されています。昨年8～9月のアンケート調査以来、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会において検討が行われていた、「豊岡道路」の概略ルートについての検討結果が、9月にまとめられましたので、その概要をお知らせします。

《問合せ》国土交通省豊岡河川国道事務所工務第二課 ☎22-13126  
都市整備課計画整備係 ☎22-1880

## 検討の経緯

昨年8～9月に全戸を対象に豊岡道路アンケート調査を行い、「豊岡道路」の必要性や配慮事項等について、市民の意見を聞きました。

アンケートでは、約7割の方が「豊岡道路の整備が必要」と回答され、配慮事項として「災害時の輸送道路確保」や「冬場でも走行しやすい道幅」「コウノトリなど貴重な動植物との共存」「住宅地を避けるルート」などの意見が出されました。

2月には、道路計画にあたり市民の皆さんの意見を反映

## 懇談会の結果の取りまとめ

懇談会では、概略ルート案が3案提示され、地域特性などを踏まえた比較・検討の結果、コウノトリや生物多様性等の自然環境、景観、優良農地などに最も配慮した①案(左図参照)が推奨案とされました。また、この概略ルート(推奨案)とあわせ、豊岡道路アンケート調査結果や懇談会で

の議論を踏まえ、「豊岡道路」の計画(みちづくり)にあたっては、地域を活性化させ、環境と暮らしを守る“ことをより良い計画づくりの目標とすべきである、との結論に至り、その計画に際して配慮すべき事項が取りまとめられました(左表参照)。

これらへの配慮事項については、今後、事業を進める上で適切に対応していくこととなります。

## 今後の予定

今後は、懇談会の結果を受けて、事業予定者である国が概略ルートを決定し、環境影響評価および都市計画決定の手続きが進められることとなります。

## 詳細はホームページで

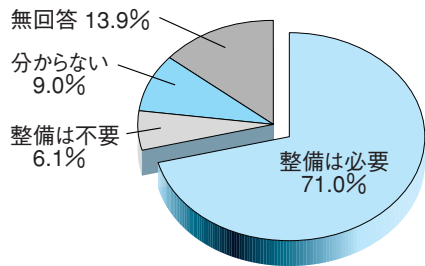
アンケート結果や懇談会の詳細な情報は、国土交通省豊岡河川国道事務所のホームページでご覧いただけます。

<http://www.kkr.nlit.go.jp/toyooka/kondankai/>

## 豊岡道路アンケート調査結果・懇談会の主な意見

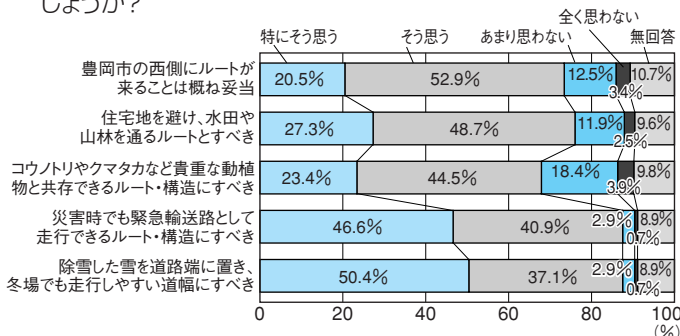
### 【設問①】

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」の整備は必要と思いますか？



### 【設問②】

「豊岡道路」の検討において、どのようなことに配慮すべきでしょうか？



### 【アンケートおよび懇談会の主な意見】

- 【計画全般】「観光シーズンの交通渋滞解消」「既存道路の改良が必要」「鳥取豊岡宮津自動車道、他道路との整合が必要」「早期整備を望む」「観光客増加による地域活性化を期待する」「地域格差解消の一助としたい」
- 【自然】「貴重な動植物と共存できる道路にしてほしい」「自然への改変を最小限に」「コウノトリの餌場に配慮してほしい」「水田を大きなまとりとして残してほしい」
- 【社会環境】「豊岡市街地の西側を通るルートが良い」「住宅地を避けること」「コウノトリ米等の取組みに配慮してほしい」「景観に配慮してほしい」
- 【防災】「緊急輸送路、避難路の確保に期待」「冬場でも走行しやすい幅員の確保を望む」「広域防災拠点とのアクセスを考えること」
- 【その他】「粘土質の田園地帯や神社、仏閣、墓地、遺跡に配慮すること」「市街地からのアクセスを考えること」

豊岡道路アンケート調査:豊岡市民(全戸配布)、周辺事業所を対象(平成19年8月～9月実施)

IC…インターチェンジ



## 地域を活性化させ、環境と暮らしに配慮します

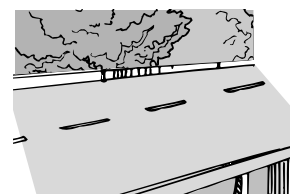
地域を活性化	所要時間の大幅短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する。</li> <li>・近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする。</li> <li>・地域活性化のため、早期供用が図れるように努力して計画を進める。</li> </ul>
	観光支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とし、利用者の利便性に配慮した計画とする。</li> </ul>
	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする。</li> </ul>
環境と暮らしを守る	生活道路の渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する。</li> </ul>
	交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする。</li> <li>・自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする。</li> <li>・環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る。</li> </ul>
	自然・環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する。</li> </ul>
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリの利用頻度の高い餌場（福田・栃江の水田）はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行う。</li> <li>・オオタカの営巣期高利用域（繁殖期に利用度の高い区域）は避けて計画する。</li> </ul>
	希少野生生物との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする。</li> </ul>
	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の建設や管理にともなう環境負荷を軽減する配慮を行う。</li> </ul>
	環境負荷の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする。</li> </ul>
	景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保および但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、生活圏の孤立を防ぐ道路とする。</li> <li>・大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする。</li> </ul>
	災害時の輸送道路確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを設置する。</li> </ul>
	地域医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の快適な交通サービスを支えられるように、積雪時の交通確保に配慮した計画とする。</li> <li>・融雪対策を行う際には、環境への負荷軽減に配慮する。</li> </ul>
	冬季交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会活動および生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする。</li> <li>・優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする。</li> <li>・地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする。</li> </ul>
市街地の改変など		

### 北近畿豊岡自動車道

(一般国道483号)とは

北近畿豊岡

自動車道は、一般国道の自動車専用道路（高規格幹線道路）で、豊岡市から朝来市和田山町を経て、丹波市春日町に至る延長約70キロメートルの路線で、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路、鳥取豊岡宮津自動車道と一体となってネットワークを形成し、但馬・丹波地域と京阪神都市圏の連携を強化します。



### 事業の進捗状況

- ・豊岡道路（豊岡市上佐野以北）は、懇談会を終了
- ・日高豊岡南道路・八鹿日高道路（豊岡市上佐野～養父市八鹿町）は、平成18年に事業化され、現在、地元協議中
- ・和田山八鹿道路（養父市八鹿町～朝来市和田山町）は、平成18年から工事中
- ・春日和田山道路（朝来市和田山町～丹波市春日町）は、平成18年までに暫定2車線で供用